

# 白川町 予防接種の手引き

R2年 10月～

お子様を感染症から守るため、予防接種を受けましょう。予防接種には感染症から身を守る効果と共に、副反応が起きることもあります。また、接種には定められた適する時期があります。予防接種をよく理解して接種を受けることが大切です。

説明をよく読んで、予診票の記入と共に体調を確認してお出かけください。

乳幼児期(主に3歳までに)に受ける予防接種

ロタウイルス感染症 ・ B型肝炎 ・ ヒブ感染症 ・ 小児の肺炎球菌感染症

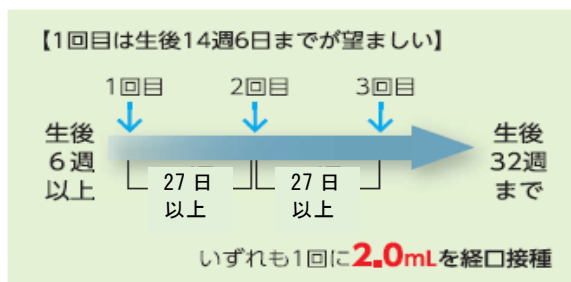
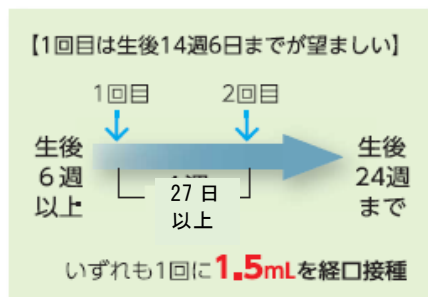
4種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風・ポリオ) ・ BCG ・ 麻しん風しん ・ 水痘(水ぼうそう)

## 予防接種スケジュール

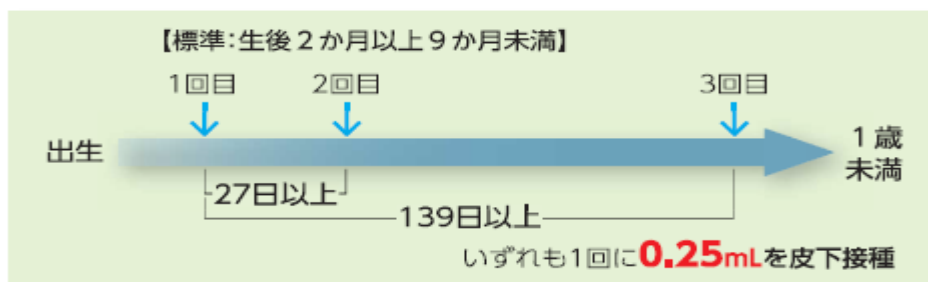
**ロタウイルス** 【標準:生後2か月から出生14週6日までに初回接種を行う】

1価(2回)

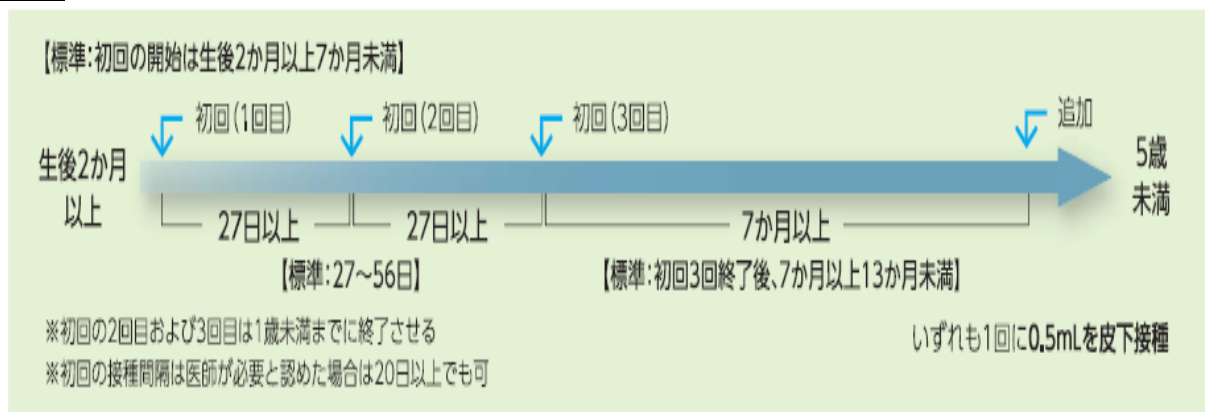
5価(3回)



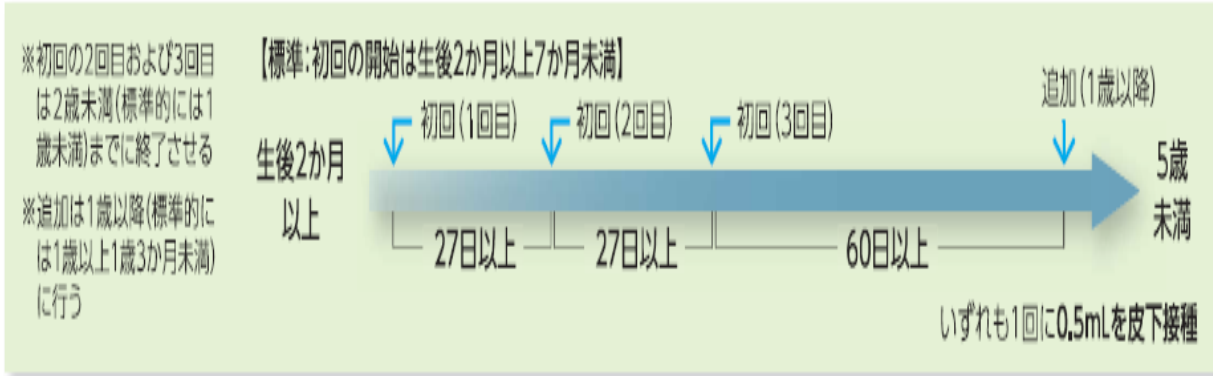
**B型肝炎**



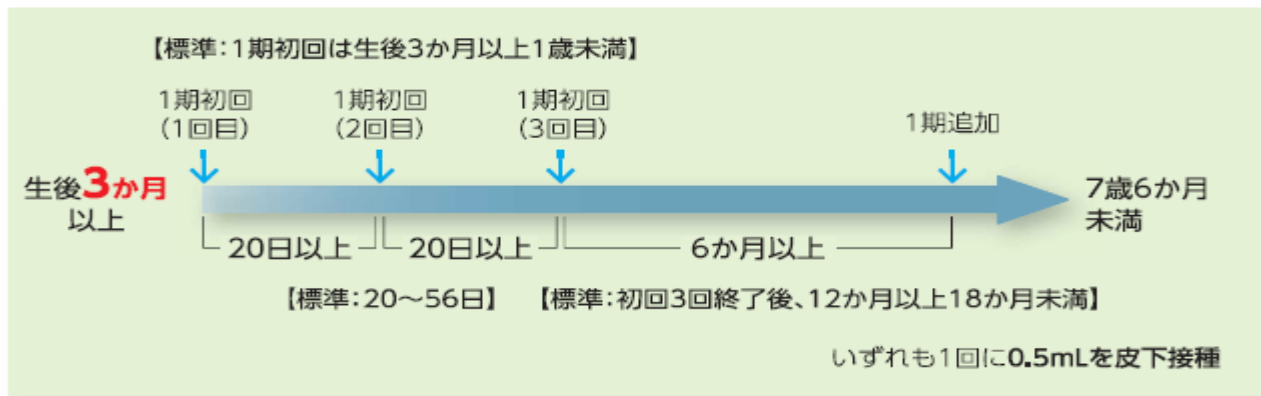
**ヒブ**



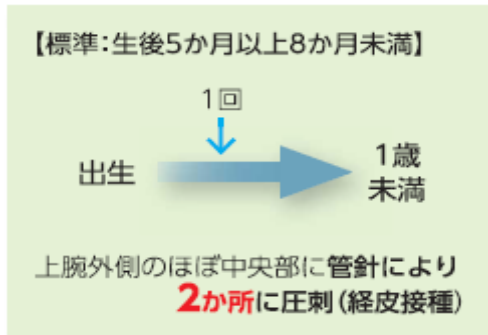
## 肺炎球菌



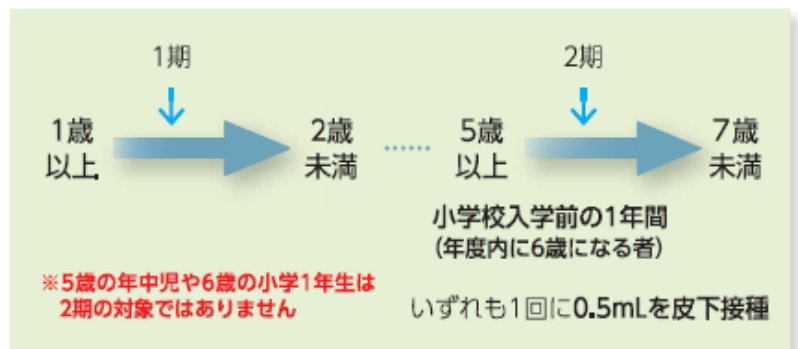
## 4種混合(百日ぜき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ)



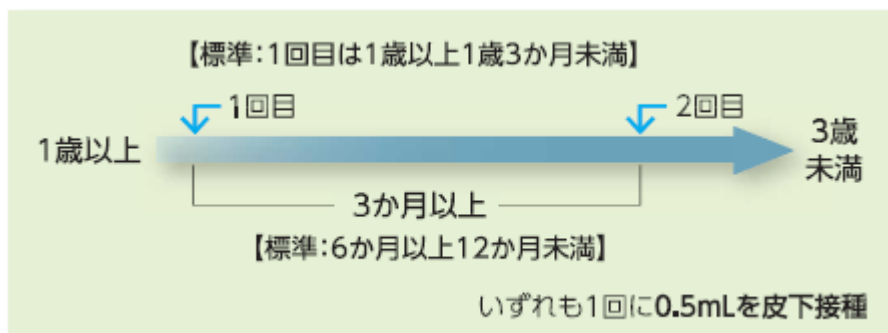
## BCG



## 麻しん風しん



## 水痘



乳幼児期の基礎免疫を高めるため、日本脳炎(小学4年生)、二種混合(小学6年生)で追加接種を行います。

予防接種は病原体の感染を予防するもので、体調のよい時に受けるのが原則です。日頃からお子さんの体質、体調など健康状態に配慮し、何か気になる事があれば、事前に主治医や白川町保健福祉課までご相談ください。

## 予防接種のはなし

### ワクチンって？

ワクチンは感染症の原因となるウイルスや細菌を精製・加工して病原性（毒素）を弱めたりなくしたりして身体にとって安全な状態にしたものです。

### 感染症は予防第一

乳幼児期には免疫が未発達なため、様々な感染症にかかります。そして感染していく事で免疫をつけながら成長していくのです。しかし、子どもがかかりやすい感染症は、かぜのように軽いものだけではありません。中には深刻な合併症や後遺症を起こしたり命に関わるような病気もあります。そうした感染症はかからないようにまず予防接種で予防する事が大切です。

### ワクチンのしくみ

自然感染のように、身体の中に免疫を作り出します。しかし、自然感染と比べて生み出される免疫力は弱いいため、1回の接種では十分ではなく、何回かに分けての追加接種が必要です。

	自然感染	ワクチン
重症化の危険性	高い	ほとんどない
他人への感染	感染しやすい	感染しない
作られる免疫	強い	少し弱い

### ワクチンの役割

- 1) 自分がかからないため
- 2) 万が一かかっても症状が軽くてすむため
- 3) まわりの人にうつさないため

### ワクチンの種類

- 生ワクチン 生きてウイルスや細菌の病原性（毒素）を、症状が出ないように極力抑えて免疫が作れるぎりぎりまで弱めたもの。1回の接種でも十分な免疫を作ることができますが、自然感染より免疫力が弱いので、追加接種した方が良いものもあります。副反応としてもととの病気のごく軽い症状が出る場合があります。
- 不活化ワクチン ウイルスや細菌の病原性（毒性）を完全に無くして、免疫を作るのに必要な成分だけを取り出したもの。接種する事でその病気になることはありませんが、1回の接種では免疫が十分につきません。ワクチンによって決められた回数の接種が必要です。

### ワクチンの安全性

ワクチンには接種後の副反応が現れることがあります。しかしそのほとんどは、接種した場所が赤く腫れたり、少し熱がでる程度の軽い副反応がほとんどです。しかし、その起こりうる副反応をしっかりと把握して、体調の良いときに接種する必要があります。

ワクチンを接種したときに起こる副反応と、ワクチンを接種しないでその病気にかかったときの危険性をしっかりと把握して接種を受けましょう。

## ワクチンを接種するときに注意すべきお子さん

ワクチンの成分に対してきわめて強いアレルギーがある場合

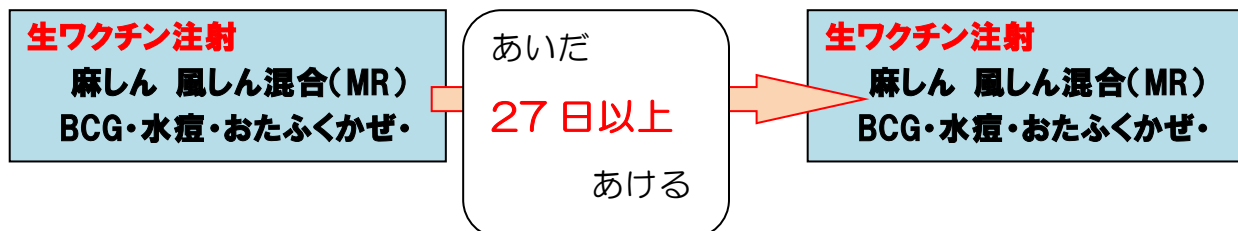
生まれつき免疫がきわめて弱い先天性免疫不全症がある・小児がん治療で免疫を抑制する薬を使っている・その他特別な病気のあるお子さんは主治医と相談してください。

## ヒブワクチンとウシ成分について

ヒブワクチン（アクトヒブ）にはウシ成分（フランス産ウシの肝臓および肺由来成分、ヨーロッパ産ウシの乳由来成分、米国産ウシの血液及び心臓由来成分）を製造工程に使用しています。これらの米国産ウシ由来成分は米国農務省により健康であることが確認されたウシに由来し、欧州医薬品審査庁のガイドラインを厳守して製造されています。これらのことから、本剤接種による伝達性海綿状脳症（TSE）の感染リスクは極めて低いものと考えられます。

## < 予防接種の接種間隔 >

- ◆ 生ワクチン注 射を接種した日から、次の生ワクチン注 射までの間隔は



- ◆ それ以外の場合は制限なし  
(ただし、同一ワクチンの接種には適する間隔があります)

27日以上とは・・・

例えば水曜日に受けたら、4週間後の水曜日以降に受けられるという意味です。

令和2年10月1日から、予防接種法の一部改正により、異なる予防接種間隔が見直されました。



## 予防接種を受けに行く前に・・・

### ◆ 一般的な注意事項

- ① 接種の数日前からお子さんの状態をよく観察し、当日朝は、普段と変わったところがないか確認しましょう。また持病があるなど接種に際して、心配な点があれば主治医に相談しましょう。
- ② 接種会場には、お子さんの体質や普段の体調が分かる保護者の方が同伴してください。
- ③ 接種時期には、遊び友達、保育園の感染症の流行状況を把握しておきましょう。また感染症の潜伏期間中は、予防接種を見合わせ、感染していないことを確認して接種しましょう。

感染症の種類によって免疫の低下や続発疾患の可能性があるため、治ってから2～4週間あける事が理想的です。判断に迷う場合は、保健福祉課・主治医にご相談ください。

- ④ 必ず「予防接種と子どもの健康」をしっかり読みましょう。
- ⑤ 接種当日、保護者の方は保護者用チェックリスト（予診票裏面）で「問題なし」の欄にすべて○がつくことを確認した後、予診票を記入しましょう。予診票は、お子さんの体調を把握する医師への大切な情報となりますのでボールペンで丁寧に記入しましょう。

### ◆ 医療機関に予約・申し込みをしましょう

毎月、町内各医療機関で予防接種が受けられます。

ワクチン等の準備があるため、**希望医療機関を選択し、毎月10日までに忘れないよう医療機関に直接、予約申込みをしましょう。**（「氏名」「電話番号」「住所」「希望する予防接種ワクチン（回数）」「希望日」を医療機関にお伝えください）**医療機関では、保護者の方の申込み後にワクチンを確保し、15日すぎから予防接種を実施します。**

医療機関の都合により、日程や時間の変更がある事がありますので確認しましょう。

医療機関	月	火	水	木	金	土	受付時間	注意事項	
白川病院 TEL 72-2222	-	-	-	-	-	-	午後3時～5時 小児科医師担当 ※原則第2月曜日のみ(第2月曜が祝日の場合は第4月曜日)	・申し込み期日(期限厳守) <b>毎月10日まで</b> 期日ぎりぎりにならないよう 早めに申込みましょう。 ※ 白川病院はこれに限らず、接種する1週間前までには予約をしましょう。	
	○	-	-	-	-	-	ロタウイルス対応状況		ロタリックス
	○	○	○	○	○	○	午前9時30分～11時00分受付		ロタテック
大賀医院 TEL 73-1126	○	○	○	○	○	○	午後3時30分～5時00分受付		
	○	○	○	○	○	-	午前8時30分～11時受付		
	○	○	○	-	○	○	対応なし		
新田医院 TEL 72-1503	○	○	○	-	○	○	午後3時30分～5時00分受付		
	-	-	-	-	-	-	対応なし		
	○	○	○	-	○	○	対応なし		

※ 時間にゆとりをもち、予診票と母子健康手帳を忘れず医療機関へお出かけください。

※ 体調不良等で、接種予定日に接種ができない場合は医療機関に必ず連絡をいれましょう。

※ 上記医療機関以外での接種を希望される方は保健福祉課へご連絡ください。

★接種当日の持ち物：**記入した予診票、母子健康手帳**  
(薬を使用しているお子さんは、薬と薬の説明文書をお持ちください)  
予診票と母子健康手帳どちらかを忘れた場合は接種できません

## ◆ 予防接種不適合者、予防接種要注意者について

### 1) 予防接種を受けることができないお子さん

- ① 明らかに発熱（37.5℃以上）している。
- ② 重い急性の病気にかかっていることが明らかである。  
その後の病気の変化が不明である事から、当日は接種を中止することが原則です。
- ③ 予防接種の接種液に含まれる成分に対してアナフィラキシーを起こしたことがある。  
通常接種後約30分以内におこるひどいアレルギー反応です。汗がたくさん出る、顔が急に腫れる、じんましん、嘔吐、息が苦しいなどのショック状態になるはげしい全身反応です。
- ④ BCG接種の対象者は、結核にかかっている。その他の予防接種や外傷等で皮膚にケロイドがある
- ⑤ その他、予防接種を行うことが不適合な状態にある。

### 2) 事前にかかりつけ医と相談しなくてはならないお子さん

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けている
- ② 予防接種後2日以内に発熱、発疹、じんましん等アレルギーを疑う症状があった
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある  
けいれん（ひきつけ）の起こった年齢、発熱の有無、その後も起こっているか、受けるワクチンの種類で条件が異なります。必ずかかりつけ医と事前によく相談しましょう。
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている、また近親者に先天性免疫不全症の方がいる
- ⑤ 予防接種の接種液に含まれる成分に対して、アレルギーをおこす可能性がある  
ワクチンの製造過程で培養に使われる卵の成分、ゼラチン、チメローサル及び抗生物質が該当します。

## 予防接種を受けたあとは・・・

- ① 接種後30分間は医療機関でお子さんの状態をよく観察し、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。急な副反応（アナフィラキシーショック）がこの間に起きる場合があります。
- ② 接種部位は清潔に保ちましょう。当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすらないよう気を付けましょう。
- ③ 過激な運動は、体調変化をきたす恐れがあるためなるべく安静にして過ごしましょう。
- ④ 生ワクチンでは接種後1ヶ月、不活化ワクチンでは接種後1～2日にワクチンの副反応がみられる場合があります。お子さんの様子をよく観察しましょう。
- ⑤ 注射部位のひどい腫れ、高熱、ひきつけ、けいれんなどの異常と思われる症状がでた場合は、速やかに医療機関に受診しましょう。

またこれに関し、医師の診察を受けた場合は、白川町保健福祉課にご連絡ください。

ワクチンの種類によって極めてまれに脳炎や神経障害などの重い副反応が生じる場合があります。厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期予防接種によるものと認定した時は、健康被害救済の給付対象となります。

白川町役場保健福祉課保健係

(0574) 72-2317 内線(362)